

前向き子育て定期便 令和 4 年 12 月(No. 12) 子どもの基本的生活習慣の習得をめざして

前向き子育て応援事業





■子どもの行動の例 じうして質問ばかりするの?どうしたら、さっさと食べてくれるの? |

例) 食事の場面 ■うちの子のできているところを探しましょう!

	できる	時々できる	できない
「ごはんよ」と伝えると返事をする	•		
「ごはんよ」と伝えると食卓へ来る	•		
いすに座る	•		
「いただきます」を言う	•		
スプーンをもつ	•		
スプーンですくう	•		
スプーンですくったものを口に運ぶ	•		
続けてスプーンですくう	•		
続けてすくったものを口に運ぶ	•		

今回の例題の子どもは、食事の時間には、 すぐ食卓に来て、食事も一人で食べられる 子どもです。

でも、どうしてママは困っているのでしょう? この子は大好きなママとお話がしたいので す。でもママは、食事の時間は、おしゃべりし ないで集中して食べて欲しいと思っています。 この親子は思いがすれ違っています。

このまま、すれ違いが続くと、この親子はどう | なるでしょう??

子育てヒント

子どもからの「はなしをする」「質問をする」「近寄ってくる」などの発信に親が向き合う ことは、親子にとって特別な時間になるでしょう。そのような関わり(1分~2分)の積み重 ねが子どもと良い関係を築くことに繋がります。

また、励ましの言葉をたくさんかけられた子どもは、自分自身を肯定的に捉えることが期待できます。

上の表をみても、できることがたくさんあります。例えば、食卓にすぐ来た時など「ゆう君は、呼ばれたら、すぐに食卓に来てくれるから助かる」などと子どもを認める(ほめる) 声掛けからスタートする食事の時間も良いですね。

例の「食事の場面」で考えてみましょう。



■子育てのコツ

「子どもと話す」

(子育ち手帳 P. 18 を参考にしてみましょう)



子どもは親と話をすることによって、話し方を学び、コミュニケーションの力を身につけることができます。 また、子どもの知的発達を促すことが期待できるでしょう。

子どもとは、話すことと聞くことの両方を練習しましょう。

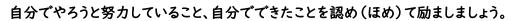
話をする中で、励ましの言葉をたくさんかけられた子どもは、自分自身を肯定的に捉え、健全な自尊感情を育むことに繋がります。

例) 野菜の名前を聞く 子ども「これ何?」 親「なんだと思う?」 子ども「キャベツ?」 親「そうかな?食べてみて」 子ども「やっぱり、キャベツだよ」 親「正解!よく分かったね」



子どもが興味をもったことを発展させて、子どもに基本的生活習慣を身につける機会をつくってみませんか。

- 例)・食事に使う材料を一緒に買い物行く
 - ・料理に使う食材を冷蔵庫から出すお手伝いをしてもらう
 - ・食べるメニューを一緒に作る
 - ・食器の準備をする
 - ・食べやすい工夫をする(手で食べれるものやお弁当箱にいれるなど)
 - 家族でおかわりをする



例)「くみちゃん、スプーンを使うのが上手ね」「みかちゃんが作ったおにぎりおいしいね」





※「子育ち手帳」は、市が開催する「おはなし会」に参加いただいた時にも配布しています。



今月の定期便についての感想や質問を お聞かせください。



市の「前向き子育て応援事業」の情報はコチラ

■お問い合わせ 子ども未来課 子育て支援係 ☎ 28-7568 (前向き子育て 担当 石橋)

科学研究費助成事業(責任者 福岡県立大学 江上千代美)

無断複写・複製を禁ず